**予習7.2**

いずれの用語も実際の（理想的ではない）オペアンプに関するものである.

* スルーレート（slew rate）

オペアンプに, 矩形波のような立ち上がり・立ち下がり時間が短い信号を印加すると, その変化に追従できず, 出力波形は台形波となる. この台形波の立ち上がり・立ち下がりの速さのうち遅い方をスルーレート（slew rate）とよぶ. たとえば前者のほうが遅いとき, 立ち上がり時間をt, 信号の変化量をΔVとすると, スルーレートはSR=ΔV/tで定義される. スルーレートが大きいほうが, オペアンプとしての性能は良い.

* オフセット（offset）

理想的なオペアンプでは, +入力端子と-入力端子を短絡すると出力電圧はゼロとなるが, 実際のオペアンプではゼロとならない. このときの出力電圧を出力オフセット電圧とよぶ. 入力端子間に微小な電位差を与えることで, 出力オフセット電圧はゼロとみなすことができ, このときの電位差を入力オフセット電圧とよぶ. オフセット電圧が小さいほうが, オペアンプとしての性能が良い.